

里親をもっと身近に。



## プロジェクト概要

<助成>

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

<主催>

 keyassets  
特定非営利活動法人キアセット

<共催>

 chieds  
children's needs

<プロジェクトパートナー>

 大分県

「ひらけ! 里親プロジェクト」プロジェクト事務局

2022. 3.16

背景

様々な事情から実の親のもとで  
育つことができない子どもたちは  
日本全国に

**約45,000人** ※2020年4月現在

このうちの80%以上の子どもが、乳児院や  
児童養護施設などの施設で集団生活をしています。

背景

そうした子どもたちを  
温かい愛情と正しい理解をもって  
一定期間、家庭環境のもとで養育する制度

それが、「**里親制度**」

里親にはいろいろな形があります。法的な親子関係が発生する「特別養子縁組」とは違い、「養育里親」は様々な事情により子どもを育てることのできない実の親の代わりに、一時的に家庭内で子どもを預かって養育する制度です。

背景

養育里親家庭での生活を通じ、  
特定の大人との関係を築くこと  
= **子どもは自己肯定感や安心感を育む**

「新しい社会的養育ビジョン（2017年）」の中で  
国からも「家庭養育優先の原則」が示されました。

けれども…

先進国の中でも、日本は里親制度についての認知や理解がまだ深まっていないのが現状です。

家族と離れて暮らす子どもたちに、  
生まれ育った地域で育まれる  
家庭環境が必要



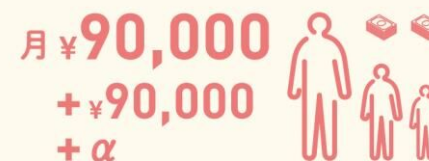
地域にとって子どもはかけがえのない宝です

日本の里親普及率は  
先進諸国と比べてすごく低く  
里親が不足している



欧米主要国では、概ね半数以上が里親委託であるのに対し、日本では、施設:里親の比率が8:2となっており、施設養護への依存が高い現状

里親手当や養育費など様々な  
支援体制がある事を知らない



「養育里親」は、国から1人あたり月額90,000円  
(2人目以降も同様) が支払われる。  
その他、日常生活にかかる費用や、教育費、医療費等の支援もある。

多様な子どものニーズにこたえ  
られるように、多様な家庭に  
里親登録してもらう必要がある



自治体によって里親委託率が約10%～約60%と格差が大きい  
福岡市56.9%、大分県34.9%

里親制度の社会的認知度が低い



「里親＝特別養子縁組」  
というイメージ

どうすれば里親になれるのか  
知られていない点が多い



- ・里親制度の基礎
- ・保護する子どもへの理解などを学ぶ研修を修了
- ・経済的に困窮していない事
- ・養育についての理解や児童への愛情をもっているか
- ・欠格事由に該当しないことなど

養育里親になるには養育里親研修を修了していることや、  
国が定める要件を満たしていることが条件

これら里親に関する情報の認知を拡大を図ることで、“里親をもっと身近に。”を実現します。

目標

## 里親をもっと身近に。

0歳から18歳までの子どもを、一定期間  
ご自分の家庭で養育してくださる「養育里親」について、  
社会全体での関心や理解を深め、  
里親をもっと社会的に身近な存在にすることを目指します。

プロジェクトの最終目標

「未来を担う子ども一人ひとりが、地域社会の中で  
その子どもらしく健やか育まれる環境を整えること」

## ロゴマーク



## ステートメント

### 里親をもっと身近に。

「里親」ってなんだろう？聞いたことはあるし、とても大事な気はする。だけど詳しいことはよくわからない…というのが里親を取り巻く状況です。だから私たちは、里親やそこで暮らす子どもたちのことを、もっとたくさんの人に、もっと詳しく、知ってもらいたいと思いました。と言っても「すぐに里親になって！」という訳ではありません（もちろんなりたい方は大歓迎です）。このプロジェクトを通して、里親家庭のことを知っている人、里親家庭のことを応援してくれる人を増やしていくことで、里親家庭が暮らしやすい地域づくりに繋げていきたいと考えています。里親家庭が特別な存在ではなく、あなたのとなりにある当たり前の存在になっていきますように。

# ひらけ！

家庭の門をひらく (開く)

未来をひらく (拓く)

里親家庭やそこで育つ子どもの事を、もっとオープンに世の中に広げていく意思を表明したプロジェクト名称です。  
「ひらけ」という言葉には、「家庭の門をひらく(開く)」「未来をひらく(拓く)」という意味が掛かっており、  
「子どもが里親家庭に迎え入れられ安心な環境で未来に向かっていく」という願いを込めています。



## プロジェクト目標

里親制度についての問い合わせを増やす。

- ① 大分県において、里親制度についての  
新規問い合わせ件数を2倍にする

(現状：年間200件程度)

2倍

企業・団体の賛同を得て、プロジェクトの輪を広げる。

- ② 里親制度や里親家庭についての社会的認知の促進/  
ムーブメントづくり(10社からの協賛)

10社

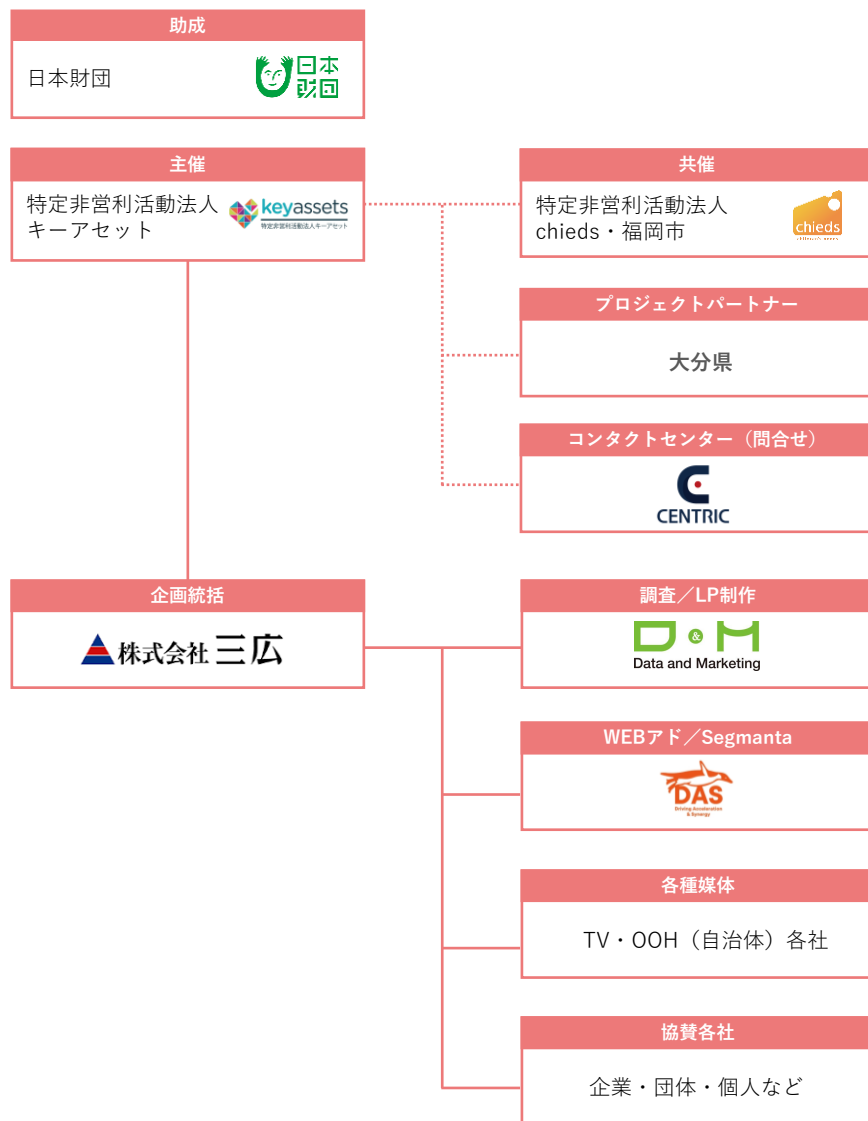
多くの方に知ってもらう為のムーブメントづくり。

- ③ 里親制度や里親家庭についての社会的認知の促進/  
ムーブメントづくり(著名人10名からの支援)

10名

名称	「ひらけ！里親プロジェクト」
プロジェクト実施期間	2022年3月16日（水）～6月（コア期間）
実施エリア	大分県
主催関連	助成 日本財団 主催 特定非営利活動法人キーアセット 共催 特定非営利活動法人chields（チーズ）
	プロジェクトパートナー 大分県
目的	<p>①大分県において、里親制度についての新規問い合わせ件数を2倍にする</p> <p>②里親制度や里親家庭についての社会的認知の促進／ムーブメントづくり（10社からの協賛／著名人10名からの支援）</p>

\*福岡市においても本プロジェクトを同時実施します



2022年



**3月**

- ・事前アンケート調査開始
- ・企業サポーター募集開始
- ・プレスリリース（3/16（水））
- ・発足記者発表（大分県：3/16（水））
- ・プロジェクトサイトオープン（アンケート実施 3/14（月）予定）
- ・メディア施策（前期：春休み 3/22（火）～4/10（日）コア期間）

**5月**

- ・メディア施策（後期：GW～4/25（金）～5/8（日）コア期間）
- ・事後アンケート調査

**6月**

- ・実施報告

PR	プレスリリース／プロジェクト発足記者発表／著名人などの応援サポーター起用 など
メディア施策	テレビCM／交通・屋外広告／WEB広告／プロジェクトページ制作 など (大分県・福岡市エリア)
賛同・協賛活動	本プロジェクトにご賛同頂ける企業・団体・個人の募集 など
効果測定	該当エリアにおいて、施策前／施策後の認知・興味関心の変化についてアンケート調査を行う

## 里親家庭の認知・理解促進

ムーブメント資産の形成

### 認知度向上フェーズ

### 理解促進フェーズ

問い合わせ2倍 = 里親意向を持つ人の増加  
社会的認知 = 里親を育む地域社会づくり

#### ① 幅広いメディア展開

- ・「養育里親」の情報への接触機会を増やす。
- ・地域特性を活かしたメディア選定。

#### ② 理解を促すクリエイティブ展開

- ・複雑な情報を分かりやすく伝えるクリエイティブ展開。
- ・広く興味を持ってもらうためのキャッチーなビジュアル。
- ・HPやLPなど各種メディアからの流入先（受け皿）を整備。

#### ③ 地域社会との協働を 目指すための活動

- ・里親を育む地域社会をつくるための企業協賛／著名人のアンバサダー活動
- ・地域社会の理解を促すリアルイベント。

事前調査



効果測定

PR活動（記者発表など）

## 大分県 プロジェクト記者発表

- とき：2022年3月16日（水）13時～13時30分
- ところ：大分県庁本館六階防災活動支援室1
- 内容：本プロジェクトの概要をマスコミ発表いたします。
- 出席者：大分県知事 広瀬勝貞様  
日本財団 理事長 尾形武寿様  
特定非営利活動法人 キーアセット 代表理事 渡邊守  
（特定非営利活動法人 chields 共同代表理事）  
特定非営利活動法人 chields 共同代表理事 小沼泰之

## 著名人による応援サポーター

大分県に縁の深い芸能人やスポーツ選手に、本プロジェクトの認知促進を目的とした応援サポーター就任を依頼します。プロジェクトページ内コンテンツとして本プロジェクトおよび養育里親家庭への賛同コメントを掲載を予定しています。



広域に訴求が可能で、幅広いターゲットに分かりやすい訴求ができるテレビCM。

プロジェクトの①立ち上がり時期（3月）と②過去の実績から里親の応募が高まるGWの2回に分けて投下します。

テレビCM

第1期 3/22～4/4 2W 大分地区 15秒テレビCM放送

第2期 4/22～5/8 2W 大分地区 15秒テレビCM放送

テレビPR

テレビCMと並行して、各テレビ局にてPRを実施し理解促進を図ります。



「ゆ〜わくワイド & News」



「かぼすタイム」



「じもっと!大分」

\* 番組は変更の可能性あり

それぞれ地域の特性を踏まえ、また各行政のサポートも得ながら里親プロジェクトの浸透を図ります。

新聞・ビジョン・フリーペーパー等

さらに地元のNO.1シェアである大分合同新聞の特別協力を得て、大分県広域をカバーする大分合同新聞を中心に、特別企画を展開します。さらに地元企業・団体の協力による露出も図ります。

【大分合同新聞企画】



大分合同新聞広告掲載

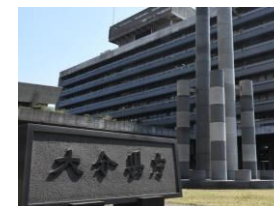


編集による記事企画

【ビジョン・チラシ・フリーペーパー等】



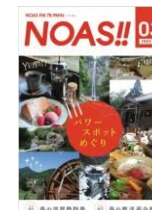
大分トリニータ  
ビジョン広告



大分県関係先にて  
ポスター、チラシなど  
設置



大分トリニータ チラシ配布



NOAS! (フリーペーパー)

## プロジェクトページ

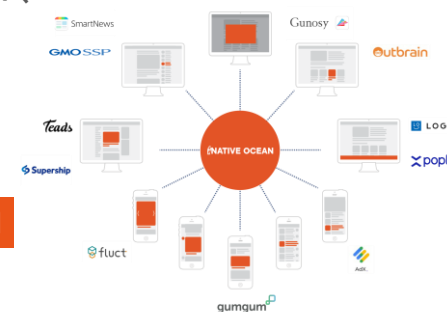
<https://www.hirake-satooya.com/>



## WEB広告

### ネイティブ広告

Native oceanを活用し、40以上のSSP、100万以上のパブリッシャーのネイティブ枠に記事広告を配信



### SNS広告・WEB広告

各種SNSフィード画面や検索画面などへの広告配信



### 通知型広告、全画面広告

Braveを活用し、関心がありそうなデバイスに広告配信





### 賛同企業募集について

里親を育む地域社会作りには、地元の企業の理解や協力は不可欠だと考え、本プロジェクトへの企業サポーターを募ります。

「養育里親」についての“社内啓発”や企業の発信力・影響力を活かした“情報発信”の取り組みを依頼します。

以下を中心に企業サポーターを募集します。

#### 企業・団体への協力依頼事項（無償）

##### ①社内啓発活動

ポスター／チラシをご提供し、社内設置および、社員への周知、「養育里親」に関する啓蒙活動へご協力頂きます。

##### ②情報発信活動

企業ホームページでの「養育里親」情報掲載などを通じて、ステイクホルダー（顧客、株主、取引先）に対しての啓蒙活動へご協力頂きます。



#### さらに積極的にご協力頂ける企業・団体への依頼事項（賛同金）

##### ③サポーター協賛金募集活動

趣旨にご賛同いただき、さらにプロジェクトへのご協力を頂ける企業様には、賛同の輪を拡げ、プロジェクトの啓蒙活動のさらなる強化に、また中期的な活動継続の為に、プロジェクト賛同金を依頼します。

※協賛金については、プロジェクト終了後（2022年7月～2023年3月までの活動（HPを中心とした広報活動他）などに役立たせて頂きます。

## 賛同企業募集について

### 企業・団体への提供内容（無償プラン）

●ご提供物：

- ①プロジェクトポスター 5枚
- ②プロジェクトチラシ 100枚

●企業メリット：

プロジェクトHP（LP）へ企業名を記載します。

または



無償プラン・賛同金プランの  
2方向で幅広く、プロジェクトへの  
支援の輪を広げていきます。

### さらに積極的にご協力頂ける企業・団体への提供内容（賛同金プラン）

◆サポーター企業A ￥300,000

●企業メリット

- ・プロジェクトHPに企業ロゴ（大サイズ）を記載します。  
※プロジェクトHPは期間中、約@@@回のビジット数（訪問者数）が見込まれます。
- ・協賛社ロゴ入りのポスター（10枚）、チラシ（500枚）を  
進呈いたします。
- ・ZOOMによる里親制度講演会を行います。（希望制）

◆サポーター企業B ￥100,000

●企業メリット

- ・プロジェクトサイトに企業名ロゴ（中サイズ）を記載します。
- ・企業ロゴを記載したチラシ（500枚）をご提供します。

◆サポーター企業C ￥50,000

●企業メリット

- ・プロジェクトサイトに企業ロゴ（小サイズ）を記載します。

## 地域社会で子どもを守り、育てる活動 ～SDGs目標達成との繋がり～

本プロジェクトでは、実親や家族と離れて生活しなければならなくなった子どもたちを中心に、彼らの人生にポジティブな変化と長期的な利益がもたらされるよう、「養育里親」制度の理解促進、里親養育の質の向上に役立つ活動に努めます。

その活動は、地域社会におけるSDGs（持続的な開発目標）のゴール達成の一助となります。企業サポーター募集にあたり、SDGs活動の一環としての意義もご説明したいと考えております。

「子どもたちを育む地域・家庭環境づくり」や「子どもたちのニーズを受け入れるための多様な“里親”の整備」など“社会全体で負うべき責任を一人ひとりが自覚する”こと、そして“日本の里親普及率を上げる”ことは下記の5つの目標に関連しています。



SDGsの17の目標に対しての「ひらけ！里親プロジェクト」との主な関連項目。

事前／事後



本プロジェクト開始前と終了後の二度に分け、20～50代の男女合計3,600名に対してインターネット調査サービスを活用したアンケートを実施。

現状の「養育里親」に対する理解度や課題点を集約し、本プロジェクトの施策に反映させます。

また、終了時にはそれらのパラメーターがどのように変化したかを測定し、本プロジェクトの成果や今後に向けた課題点を明らかにします。

プロジェクト期間中



設問やクイズ、アンケートなどのコンテンツをプロジェクトページ内に設置できるサービス「Segmanta」を使用し、プロジェクト期間中における、ユーザーのインサイトを抽出します。

ユーザーの「養育里親」に対する理解度や不足している情報などを測定するだけでなく、クイズ形式にして理解を深めてもらうなど、コミュニケーションツールをしても活用していきます。

- ①大分県において、里親制度についての新規問い合わせ件数を2倍にする
- ②里親制度や里親家庭についての社会的認知の促進／ムーブメントづくり

新規問い合わせ件数  
大分：**400**件

**10**社の協賛  
**10**名の著名人

**200**社に営業  
**20**社以上のご協力

2022年3月～8月迄

テレビCM  
**1000**GRP獲得

3月～4月（第1期）  
4月～5月（第2期）  
※大分県において

里親アンケート  
WEBアンケート  
**3,600**名実施

屋外広告  
**20**面獲得  
（大分）

一般からの「里親」に関するお問合せ先

電話 0120-105-103

Mail [info@hirake-satooya.com](mailto:info@hirake-satooya.com)

LINE <https://lin.ee/f7awN1j>

「賛同・協賛」に関するお問合せ

電話 092-771-8522

Mail [yoshimatsu@sanko.ne.jp](mailto:yoshimatsu@sanko.ne.jp)

[papanda10@icloud.com](mailto:papanda10@icloud.com)

株式会社 三広

担当：嘉松（ヨシマツ）

松本（マツモト）

里親をもっと身近に。



ひらけ!  
里親  
プロジェクト